

平成23年度 専門課程 地域防災GIS〔地震災害〕研修 教科目

区分	教科目	講師	時間数 下線は B日程	内容
基本科目	GISを活用した効果的な危機対応の推進	京都大学防災研究所 巨大災害研究センター教授	1.5 1.5	ハザードマップの整備、防災・減災サイクル、東日本大震災における緊急地図作成チーム(EMT)の活動
	国土交通行政と防災	国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 災害対策室 (調整中)	1.5 1.5	災害の現況と政府、国土交通省の災害対策・災害対応について
	小計		3.0 3.0	
専門科目	災害対応に地理空間情報が果たす役割	国土地理院 応用地理部 防災地理課 課長補佐	1.5 1.5	防災地理情報としての各種主題図、土地条件GIS、ハザードマップポータルサイト等について
	GISの概要と基本技術	(財)日本地図センター 研究第一部 主幹研究員	1.5 0	GISの概要と基礎的知識、GISの主な機能、利活用例等
	電子国土Webシステムによる情報共有	国土地理院 地理空間情報部 情報普及課 課長補佐	1.5 0	電子国土Webシステムの概要、利用、事例紹介等
	防災GISの概要 - 地方自治体での利活用 -	東京ガス・エンジニアリング(株) マッピング技術部 技術G 課長代理	1.5 1.5	総合防災・災害情報システムについて、概要から導入、運用、活用まで
	防災とリスクコミュニケーション	(独)防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域 災害リスク研究ユニット 特別研究員	1.5 1.5	災害リスク情報、地域防災力、リスクガバナンス、災害リスク情報活用システムの開発について
	効果的な災害対応を実現するための地理空間情報・GISの活用	兵庫県立大学総合教育センター内 防災教育センター 准教授	1.5 0	防災・災害情報システムの運用における、平常時から災害時へのシームレスな連携等について
	状況認識の統一にむけたGISの活用方策	新潟大学 災害・復興科学研究所 災害情報通信分野 助教	1.5 1.5	状況認識の統一とは、内閣府EMTの活動、東日本大震災における現場レベルでの地図ニーズ等
	東日本大震災でのGISの活用と今後の課題	浦安市 市長公室 企画政策課 行政経営室 室長	1.5 1.5	液状化によるライフラインの甚大な被害に対する復旧対策としての統合型GISの活用と課題
小計		12.0 7.5		
課題研究等	課題研究	環境・防災情報研修官、測量新技術研修官	15.5 14.5	ArcGISによる班別総合実習
	GIS実習(ArcGIS)	(有)GISインスティテュート 代表取締役 アシスタント (株)東京地図研究社	14.0 0	汎用GISソフトであるArcGISを利用したGISの基本的操作手法の実習
	小計		29.5 14.5	
その他	入校式、修了式	測量部長、環境・防災情報研修官、測量新技術研修官	2.0 0.5	
	小計		2.0 0.5	
合計			46.5 25.5	